



特長

専用ソフト搭載ノートPC、信号処理部、3チャンネル速度センサのシンプルで可搬性に優れた構成で建物や構造物の固有周期や減衰定数といった振動特性をリアルタイムに解析し、結果を表示します。

リアルタイムに波形およびスペクトルを表示すると同時にRD法による固有振動数・減衰定数を演算し、またデジタル処理により長周期域を増幅することもできます。

長周期域補正を行うことで、最長で5秒程度の周期までの測定が可能です。近年懸念されている長周期地震動による高層建物の測定ができ、地震防災対策に役立てることが出来ます。

主な仕様

(1) 信号処理部

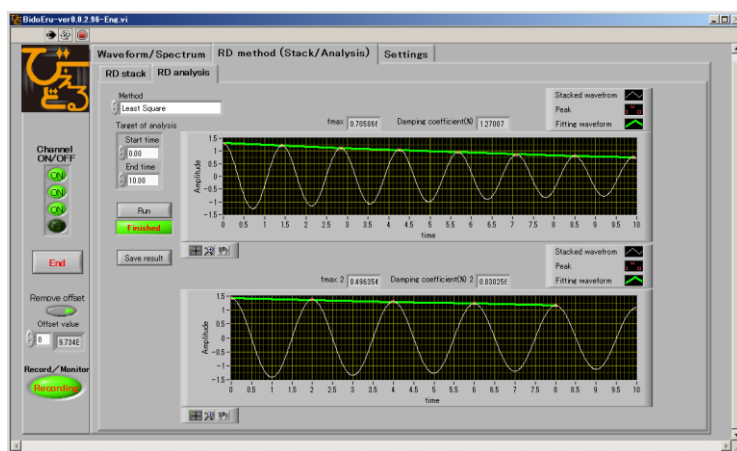
- ・AD分解能: 24ビットデルタシグマ
- ・サンプリング周波数: 100Hz
- ・ノイズレベル: 70 μ Vrms

(2) センサ部

- ・動コイル速度計(ジオフォン)
- ・固有周波数: 4.5Hz
- ・成分数: 3成分(水平2成分、上下1成分)

(3) 運搬用ケース

- サイズ: 約50×40×20cm
- 重量: 約9kg (信号処理部・センサ部含む)



RD法による構造物の固有周期・減衰定数の分析結果例

※本カタログ記載の機器外観、仕様などは予告なく変更される可能性があります。
 ※本装置の振動分析結果に関する評価についてのお問合せには応じかねます。